

2018年度再資源化預託金等の運用計画  
(2018年10月変更後※)

運用の基本方針に基づき、2018年度の再資源化預託金等の運用計画を以下のとおりとする。

1. 2018年度の新規運用額の見通し

入金及び繰越金 1,562億円												
<b>預託金</b> 新車購入時541億円 引取時 3億円 (合計) 543億円	運用収入 96億円	債券満期償還金 892億円	前期からの繰越額 31億円 *									
出金及び繰越金 571億円			<b>2018年度の新規運用額</b> 990億円									
メーカー等への払渡 382億円	輸出返還 184億円	他会計への 繰入金支出 4億円										
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>第1四半期</th> <th>第2四半期</th> <th>第3四半期</th> <th>第4四半期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>264億円</td> <td>260億円</td> <td>229億円</td> <td>238億円</td> </tr> </tbody> </table>	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	264億円	260億円	229億円	238億円
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期									
264億円	260億円	229億円	238億円									

\* 前期からの繰越額31億円は、2018年度第1四半期の初めに債券を取得するために繰り越す額等である。

2. 2018年度における新規取得債券の種別構成及び2018年度末の保有額面残高の見通し

- ① 運用の基本方針に基づき、2018年度において新規に取得する運用対象資産は、「国債」「政府保証債」「地方債」「財投機関債」とする。
- ② 政府保証債の取得額については、各年限の額面残高が300億円を超えない範囲とする。また、地方債及び財投機関債については、それぞれ額面3億円を超えない範囲での取得とする。
- ③ 2018年度における新規取得債券の種別構成及び2018年度末の保有額面残高の見通しは下表のとおり

	国債	政府保証債	地方債	財投機関債	社債及び金融債	計
2017年度末 保有残高	7,234億円	1,063億円	173億円	119億円	350億円	8,939億円
2018年度 満期償還額	553億円	32億円	2億円	14億円	291億円	892億円
2018年度 新規取得額	756億円	75億円	3億円	3億円	-	837億円
2018年度末 保有残高見通し	7,437億円	1,106億円	174億円	108億円	59億円	8,884億円
2018年度末 種別構成比見通し	83.7%	12.4%	2.0%	1.2%	0.7%	100.0%

※ 詳細は第79回(2018年2月28日開催)及び第82回(2018年9月21日開催)の資金管理業務諮問委員会資料をご参照ください。